

経費回収率の向上に向けたロードマップ

【犬山市公共下水道事業】

国土交通省「下水道事業における収支構造的成果に向けた取組の推進について(令和2年7月22日)」に基づき、下水道事業の健全性・継続性を図ることを目的に、本事業における経費回収率の向上に向けたロードマップを以下に示します。

項目		計画期間									
		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
経営戦略計画期間		▶									
経営戦略の改定						● 見直し					● 見直し
収入増加	接続率の向上	▶									
	下水道使用料の改定検討		● 改定			● 改定					■ ■ ■ ■ ■ 検証
支出削減	不明水対策	▶									
	広域化・共同化	▶									
	民間活用の検討	▶									

本市では経営健全に向けた取組として、次頁に示すとおり各取組を実施していきます。

①経営健全化に関する定量的な業務指標及び目標年限

基本方針の実現に向けた経営目標を以下の通り設定し、具体的な数値目標を掲げることで、経営の見える化を図ります。

項目	令和5年度 (実績)	令和11年度	令和16年度
経費回収率※ (%)	68	100	100
接続率 (%)	87	93	96
不明水率 (%)	36	33	20

※経費回収率については、人口減少や物価上昇等の影響により減少傾向にありますが、目指すべき値として経費回収率100%に近づけるように努めます。

②-1 収入増加のための具体的取組及び実施時期

■接続率の向上

下水道接続のPRを継続して実施し、本経営戦略では令和5年度末の87%から令和16年度末で96%の接続率の向上を目標とします。

■下水道使用料の改定

令和7年度に下水道条例を改正し、約半年間の周知期間を経て、令和8年4月から25%、令和11年4月からさらに25%（累計50%）の改定を行い、経費回収率100%達成を目標とします。

②-2 支出削減のための具体的取組及び実施時期

■不明水対策

令和5年度の下水道計画区域の見直しで未整備区域約340haを削除しており、その効果として削減できた費用を改築工事に充てることで令和10年度以降に従来以上に改築工事を促進して不明水の削減を図り、不明水率を令和5年度末の36%から令和16年度末で20%まで向上する目標とします。

■広域化・共同化

令和4年度に愛知県が策定する「愛知県汚水処理広域化・共同化計画」において、「管路施設の点検・調査の共同化」に参画し、令和6年度から5市2町（一宮市、犬山市、江南市、稲沢市、岩倉市、大口町、扶桑町）による共同発注を実施しています。

農業集落排水事業については、公共下水道への接続を検討していきます。

■民間活用の検討

将来的には、老朽化した管路が増加し、職員数の減少等により適切な維持管理や更新が困難になるおそれがあります。

そのため、民間事業者のノウハウを生かし、効率的な業務を行っていくため、今後、ウォーターPPP等の民間活用の導入に向けて検討を行います。

③収支構造の改善の要否等について、少なくとも5年に1度の頻度で、定期的な検証・見直しを行う旨

毎年度の決算後に実績との比較を行い、実態と大きく乖離する場合は、その原因を分析します。

また、5年ごとの中期スパンで経営分析等の再検討を行い、必要がある場合は計画の見直しを行うとともに、物価上昇率や企業債利率の設定等の社会情勢の影響を考慮して検討するものとします。